## 農林水産部

## 再評価調書

事業名 畑地帯総合整備事業 地区名 三里浜砂丘地 坂井市三国町米納津ほか

### 事業目的

本地区はラッキョウ・大根・スイカ等の特産物の生産地であるが、水源である地下水への塩水混入や、飛砂による農作物の生育障害、また塩水による用水施設の機能障害が発生している。このため、国営事業と一体的に水源転換及び用水施設の再編整備を行うとともに防砂ネットを施工するなど、地域の課題を解決し、園芸作物の生産拡大を図る。

### 全体事業内容

農業用用水 13.8km 農道整備 0.4km 暗渠排水 76.0ha 農地保全(防砂ネット) 11.8km (受益面積 222ha)

車券計画	事業採択	年度	用地	也着手年度	工事着手年度		完成	予定年度	
事業計画	平成9年	度	平成10年度		平成10年度		平月	成24年度	
事業費(千円)		全体事業費		執行済み額 (H19年度まで)	進捗率 (H19末)	残事業費 (H20以降残額)		備考	
予算	額	3,583	3,650	2,805,075	78.3%	778,575			
財源	国庫	1,791,825		1,402,538		389,287		50%	
1.45	県	1,066,562		834,843		231	,719	30%	
内訳	地元(市·農家)	725,263		567,694		157	,569	20%	
費用対	効果	1.04 (総費用58.2億円 総便益60.8億円) 関連事業含む							
事業の進捗状況	H19までの状況	農業用用水13.4km、農道0.4km、暗渠排水74ha、防砂ネット1.1km							
	H20以降残事業	農業用用	]水0.4km、	暗渠排水2ha、	防砂ネット1	0.7km			

### 農業施策との関連

福井県では現在、年間生産高120億円(現在約100億円)を目指して県内全域で園芸の振興を図っている。当 地区は県内主要産地であり、また農産物加工にも積極的に取り組んでおり、今後、一層の生産振興を図ることが 求められる。

### (参考) 当地区 受益農家 244戸

主要品目の年産出額 7.7億円 ダイコン3.4億円、ラッキョウ 1.8億円、スイカ1.4億円、メロン1億円 (H13~17平均 JA調べ)

## 関連事業

1 S VII				
(事業名)	(地区名)	(主要工種·事業量)	(進捗率)	(工期)
国営かんがい 排水事業	九頭竜川下流地区	パイプライン 49.4km、水管理システム 1式	82.9% (今後、言	H11~H20 †画変更予定)

## コスト縮減の取組み

防砂ネットの支柱を鋼製から木製(県産間伐材利用)に見直し、コスト縮減を図っている。(約14百万円の縮減に相当)

管水路掘削土を他の公共工事に流用し、残土処理費用の縮減を図っている。(約22百万円の縮減に相当)

## 事業を休止した場合の影響

地下水の塩水混入や飛砂による生育障害が拡大するとともに、用水施設の機能障害により用水確保が困難となるため、農業生産性が低下し農家の生産意欲が減退、耕作放棄地の拡大が懸念される。

NO.1

事業名 道路改良事業 事業区間 国道158号 福井市奈良瀬町~福井市境寺町	事業名	道路改良事業	事業区間	国道158号 福井市奈良瀬町~福井市境寺町
---------------------------------------	-----	--------	------	-----------------------

### 事業目的

国道158号は、福井市と大野市をつなぐ重要な幹線道路であり、交通量が多いが、幅員狭小、線形不良のため交通の安全確保が不十分な状況にあることから、バイパスを整備し、交通の安全と地域間の交流・連携の強化を図る。

#### 全体事業内容

全体延長 L=5,450m

一般部 L=3,603m トンネル部 L=1,582m 橋梁部 L=265m(4橋) 用地補償 1式

全体幅員 W=13.0m (うち車道部6.5m)

事業計画	事業採択	年度	用地着	<b>手</b> 年度	工事	<b>事着手年度</b>		完成予	定年度
尹未可凹	平成5年	度	平成	平成5年度		平成5年度			3年度
事業費( <sup>-</sup>	全体事業費		執行済み額 (H19年度まで)		進捗率 (H19末)		浅事業費 0以降残額)	備考	
予算	額	14,84	0,000	11,130	,000	75.0%	3,	3,710,000	
財源	国庫	8,162	2,000	6,121,500			2,040,500		55%
内訳	県	6,678,000		5,008	5,008,500		1,6		
費用対効果		2.1 (総費用 191.4億円 、 総便益 393.5億円)							
事業の進捗状況	H19までの状況	19年度は	全体延長5,450mのうち、1,856m(奈良瀬町~小和清水町)をH11に供用済み。 19年度は、朝谷町工区を施工 19年度末で用地補償 84%完了予定						用済み。
事業の延沙机が	H20以降残事業	道路工 L H21の植	=3,329m 樹祭までI	橋梁工 4桁 こ、小和清オ	喬(265m) く町から美	舗装工 Li 山橋まで(	=3,32 1,360	9m )m)の供用を	目指す。

### コスト縮減等の取組み

建設発生土の現場内流用や他公共事業への流用を促進しており、全体で約1.8億円のコスト縮減が見込まれる。

バイパス整備区間が現道に取り付かないことから、交通混雑の緩和が図られない。

幅員狭小、線形不良であるため、安全な交通の確保ができないことから、地域間の交流・連携強化を図ることができないとともに、地域住民の快適な生活環境の確保に支障をきたす。

備考

NO.2

事業名	街路事業	事業区間	福井縦貫線(幸橋)	福井市中央1丁目~毛矢2丁目
-----	------	------	-----------	----------------

### 事業目的

老朽化が進んだ幸橋を架け替えることにより、福井市中心市街地において、交通循環の改善および足羽川の河川断面の確保による洪水被害の防止を図る。

### 全体事業内容

### 事業延長 L=570m

幸橋本体 L=140m W=36.8m 橋詰広場 4箇所 電線共同溝 430m 補償 1式

***1=	事業採択	年度	用地着手年度		工事着手年度			完成予定年度	
事業計画	平成4年	度	平成12年度		平成13年度			平成2	1年度
事業費( <sup>=</sup>	全体事業費		執行済み額 (H19年度まで)		進捗率 (H19末)	-	线事業費 0以降残額)	備考	
予算	額	10,96	60,000	9,583	3,145	87.4%	1,	376,855	
財源	国庫	5,126,220		4,418,950			707,270		50% 55%
内 訳	県	4,00	4,360	3,564,251			3	00,000	
/עם ניין	その他	1,829,420		1,599,944			2	29,476	
費用対効果		2.9	2.9 (総費用 68.2 億円 、 総便益 195.7億円)						
事業の進捗状況	H19までの状況	H19.10	に橋梁本体	本が完成し	、鉄道お。	はび上下5車	巨線か	ば用済み	
予条の延沙が加	H20以降残事業	橋詰広均	易 4箇所	電線共同	司溝 L=43	30m			

#### 他事業との関連

福井駅周辺土地区画整理事業や市街地再開発事業とともに駅周辺部を一体的に整備することにより、中心市街地の賑わいを取り戻し、都市機能の一層の充実強化を図る。

## コスト縮減等の取組み

橋梁本体の完成については、福井豪雨の影響で工期が平成20年6月まで延びる予定であったが、上部工の架設工事について、出水期でも架設できる特殊工法を採用した。また、施工方法の見直しも行い、8ケ月の工期短縮を図った。

### 事業を休止した場合の影響

幸橋の橋梁本体の完成により道路交通が大幅に改善されているが、残りの橋詰広場や電線類の地中化が完成しないと、幸橋を含めた大名町交差点から毛矢交差点までの沿線一体となった景観整備ができなくなり、中心市街地の魅力あるまちづくりに支障をきたす。

備考

NO.3

事業名	敦賀港侵食対策事業	事業区間	敦賀港海岸	敦賀市松島地区	
-----	-----------	------	-------	---------	--

### 事業目的

敦賀港海岸松原地区は、県外から多くの観光客が訪れる県内有数の海水浴場であるが、近年の海浜侵食による汀線の後退や松への被害発生が著しく、また、冬季風浪時には、越波による住宅等への被害が発生していることから、海岸保全施設を整備し被害の防止を図る。

### 全体事業内容

離岸堤 L = 240m(2基) 突堤 L = 119m(1基) 護岸 L = 345m 養浜 V = 114千㎡(汀線を現況より12m前出し)

市光台市	事業採択	年度	用地着手年度		工事着手年度			完成予定年度	
事業計画	平成6年	<b>F</b> 度	-		平成7年度			平成29年度	
事業費(予	全体事業費		執行済み額 (H19年度まで)		進捗率 (H19末)	残事業費 (H20以降残額)		備考	
予 算	額	3,91	6,300	2,06	0,000	52.6%	1,856,300		
財源	国庫	1,95	8,150	1,030	0,000		928	,150	50%
内訳	県	1,95	8,150	1,030	0,000		928	,150	
費用対効果		3.1 (総費用 43.0億円 、 総便益 132.2億円)							
事業の進捗状況	H19までの状況	養浜 V=	雅岸堤 L=240m(2基)、突堤 L=119m(1基)、護岸 L=345m を完了 養浜 V=5,000㎡施工済み(延長1,000mのうち、400m区間の汀線の6m前出し完了) H19は、養浜 V=1,800㎡を施工						完了)
	H20以降残事業	養浜 V=	107,200m	3					

### コスト縮減等の取組み

現地砂を養浜砂として流用する方法の可能性を検討しており、海浜地中に別の砂を埋め戻すことによる松林への影響がないことや埋戻砂の確保ができれば、約1.2億円のコスト縮減が見込まれる。

また、汀線を現況より12m前出しする養浜工において、6m前出しが完成した時点で、養浜効果の検証を行い、 その検証結果に基づき整備を行っていく。

### 事業を休止した場合の影響

海浜侵食の進行に伴い、国の名勝「気比の松原」の被害がさらに拡大する。また海浜幅の減少により海水浴場としての機能が著しく低下し観光客が減少する。

備考

## 土 木 部

## 再評価調書

NO.4

事業名	敦賀港侵食対策事業	事業区間	敦賀港海岸	敦賀市常宮·縄間地区	
-----	-----------	------	-------	------------	--

### 事業目的

教賀港海岸常宮・縄間地区においては、冬季波浪時に、越波による県道の通行止めや住宅への被害が発生していることから、海岸保全施設を整備し被害の防止を図る。

### 全体事業内容

離岸堤 L = 700m (7基) 護岸 L=540.9m

***1=	事業採択年度		用地着手年度		工事着手年度			完成予定年度	
事業計画	昭和54年度		-		昭和55年度			平成25年度	
事業費( <sup>=</sup>	全体	事業費	執行済み額 (H19年度まで)		<b>進捗率</b> (H19末)		事業費 <sup>以降残額)</sup>	備考	
予 算	額	2,43	6,000	1,556	6,900	63.9%	87	879,100	
財源	国庫	1,218,000		778,450			43	9,550	50%
内訳	県	1,218,000		778,450			43	9,550	
費用対効果				0億円 、		43.1億円)			
事業の進捗状況	H19までの状況	離岸堤 L H19は、离	.=470m(4基 推岸堤5基目	+ 5基目7 目L=10mを	′0m)、護岸 施工	<b>≢ L=540.9</b> n	n を完了	7	
子未V)にjyがが	H20以降残事業	離岸堤	L=220m(2基	基 + 20m)					

## 他事業との関連

敦賀港海岸の侵食対策については、これまで二村地区、名子地区を重点的に整備していた期間があり、その間 は縄間地区を休止していた。

## コスト縮減等の取組み

侵食対策の構造形式については、これまで箇所毎に水深や反射波の影響等を考慮した最も経済的に安価な構造を選定しており、今後設計を行なう縄間地区においても、経済性等を考慮した形式を選定する。 また、今後、捨石には可能な限り他工事からの流用材を使用するように努めていく。

#### 事業を休止した場合の影響

波浪時の越波により、常宮・縄間地区において住宅等の浸水被害が発生し、住民生活に大きな影響を与える。 また、県道竹波立石縄間線は迂回路のない地域の生命線であり、波浪時の越波により県道が通行止めになれば、当該地区から先にある西浦地区の住民は孤立することになる。

冬季波浪時における県道の通行および住民の安全確保と国土保全上必要

〔過去の災害実績〕

昭和38年9月 暴風波浪により常宮地区の護岸約600mが決壊、県道500mが通行不能、民家15戸に浸水被害

備 考

昭和51年10月、昭和56年2月 高潮、波浪により(主)佐田竹波敦賀線が通行不能、縄間、常宮、名子地区で民家に浸水被害

平成19年1月 風浪により縄間地区で越波があり、地元から対策の要望がある。

このほか冬季風浪時、越波により県道は通行止めにはならないもののの通行に支障をきたしている。

NO.5

事業名	住宅市街地基盤整備事業	事業区間	芳野川 福井市下森田新町~福井市上野本町
-----	-------------	------	----------------------

### 事業目的

福井市北部市街地を流れる芳野川は、現況の流下能力が低いことから、治水安全度を現況の1/2から1/50に高め、水害から住民の生命と財産を守る。

### 全体事業内容

全体延長 L = 1,580m

築堤 L=1,525m 掘削工 V = 8,500m 道路橋 4橋 樋門 2基 用地補償 1式

NI( ± 1	事業採折	事業採択年度		用地着手年度		工事着手年度			完成予定年度	
事業計画	平成10	年度	平成10年度		平成11年度			平成21年度		
事業費(引	全体事業費		執行済み額 (H19年度まで)		進捗率 (H19末)	残事業費 (H20以降残額)		備考		
予 算	額	3,70	0,000	3,288,600		88.9%	411	411,400		
財源	国庫	1,850,000		1,644,300			205,700		50%	
内訳	県	1,850,000		1,644,300			205	,700		
費用対効果		7.9	(総費用	77.1億円	、 総便	益 607.9億	意円)			
事業の進捗状況	H19までの状況	19年度は		、掘削工	を施工、用	喬 4橋、樋門 日地補償	門 1基を完	記		
	H20以降残事業	築堤 L=1	,064m 掘	—————————————————————————————————————	 10m 樋門	1基、用地	·····································			

### 他事業との関連

福井市施行の森田北東部土地区画整理事業(240.5ha、H8~H23)との連携により河川用地を確保しており、 道路・排水計画の進捗と整合を図りながら一体的な整備を進めている。

### コスト縮減等の取組み

建設発生土を、区画整理区域内(公園予定地)にストックし、埋立て等の有効利用(工事間流用)を図っている。(河川改修事業と併せて施工しており、全体で約2.3億円のコスト縮減が見込まれる。)

治水上の安全性が確保できず、住宅・学校・病院・福祉施設・幹線道路等に対し、洪水に伴う被害が及ぶことにより住民生活に大きな影響がある。

区域内被害想定 : 浸水戸数1,114戸 農地浸水面積 2.0ha

区域内重要施設等: 県道(1)、小学校(1)、公民館(1)、病院(1)、保育園(1)、

老人福祉施設(1) 等

備 考

〔過去の災害実績〕

昭和56年7月2~3(梅雨前線) 浸水戸数80戸、農地浸水面積21ha